

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

沖縄協同病院
院長
伊泊 広二

沖縄医療生協創立50周年によせて

目まぐるしく変化した戦後沖縄の中で、復帰の年1972年10月に創立された沖縄医療生協が50周年を迎える事となりました。多くの医療生協の組合員さん、病院を利用する地域の皆さんのご協力に深く感謝いたします。沖縄協同病院の設立母体である沖縄医療生協は9万8千人(2022年8月末現在)の組合員さんに支えられ、3つの病院と6つの診療所を運営し、宮古、八重山まで支部を作り発展してきました。皆さんの健康を守るために、「出産から老年期の介護まで」沖縄医療生協とその関連団体である社会福祉法人沖縄にじの会を中心に、周辺の医療機関、福祉事業所などと協力して取り組んでいる所です。

さて、沖縄協同病院は沖縄医療生活協同組合の発足後、1976年3月22日に当時の豊見城村真玉橋に開院し、現在46年目となっております。また、現在の那覇市古波蔵に新築移転後13年が経過しました。新しい保険診療の変化に対応しながら急性期病院(280床)として運営しています。外来部門の一部は協同にじクリニック、回復期、慢性期医療はとよみ生協病院と機能の分担がすすんできました。とよみ生協病院は地域利用計画の中で52床を増床し、2024年春の開院(137床)の予定で新築工事が始まっています。沖縄協同病院も今後の医療活動を見据えながら、増築や改修が求められている所です。今後医療ニーズが増える那覇南部地域での沖縄医療生協の役割はさらに大きくなっています。

ここ数年の新型コロナ感染症の蔓延は、従来の医療活動を大きく変化させるもので、病院に受診にくくなりました。病院側も院内感染を防ぐため様々な制限が必要となりました。コロナ感染症が終息しても病院の状況は、以前のように戻る事は無いと考えています。感染対策を含め、病院の役割は明確化され、沖縄協同病院はより急性期医療に特化した運営が求められます。皆さんのご理解とご協力が必要です。

当院の理念は「人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行う事。地域と共に平和で健康に暮らせるまちづくりを行う事」となっております。まちづくりに参加するというユニークな理念を持っています。中々、コロナ禍という事もあり、「まちづくり」の実践は不十分でした。しかし、これからも医療生協の組合員さんと地域の皆さんに支えられた「わったー病院」として、「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」活動を広げていきたいと思います。

おまけ
現在の院長は何代目?

沖縄医療生協の病院長は特に任期はありませんが、時代時代の使命を帯びて代わってきています。古くから病院を利用している皆さんにはご存知かも知れませんが、
・初代院長 島袋博美(一九七六年一月七日)
・二代院長 仲田常雄(一九九三年三月三日)
・三代院長 仲西洋和(一九九九年六月六日)
・四代院長 仲程圭蔵(二〇〇〇年九月二日)
・五代院長 仲哲(二〇〇〇年九月二日)
・六代院長 伊泊広二(二〇〇〇年九月二日)
と引き継がれて 七代目 伊泊広二です。

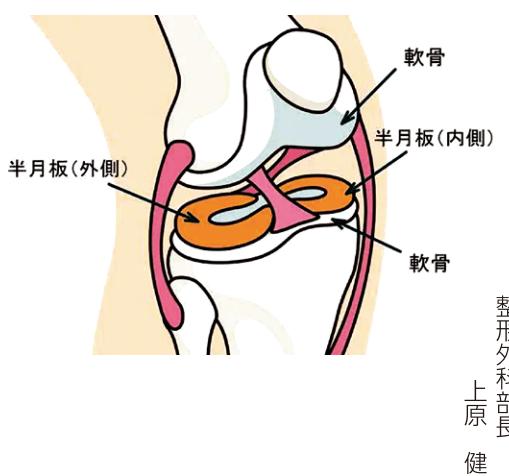


病院への感謝
昨年の六月にコロナに感染し、その際にも大変お世話をになりましたが、今回肺炎で入院となりました。入院中、患者自身がお礼を述べる場面において、医療スタッフの方々から沢山の「ありがとうございます」を頂き、心温まる入院生活を過ごすことが出来ました。感謝。本当にありがとうございました。お世話になりました。



半月板

ひばりが丘 188 整形外科より



整形外科部長 上原 健

半月板を損傷する原因にはスポーツなどで痛める場合と、加齢により徐々に半月板がいたんですりかかる場合があります。月板損傷の診断ではレントゲン写真には月板は写りませんので、MRIという検査を行い確認します。半月板損傷の周辺部が痛みがあり治ることがあります。内側月板の部分は血流がなく自然治癒はむずかしいです。ロッキングなどの切れた半月板が膝の中に挟まつた場合や周辺部の損傷では部分切除術や保存治療を行いますが、それ以外は部分切除術や保存治療を行うことになります。保存治療は内服薬や関節注射などです。口々キックなど切れた半月板が膝の曲げ伸ばしなどの可動域訓練を行います。半月板損傷は関節の軟骨がすり変形性膝関節症の原因ともなります。太ももの前の部分の筋力をつける運動で膝関節の痛みの際は一度整形外科へご相談いただけたらいつ幸いです。



膝関節には半月板というものがあります。今回、半月板の働きを持つていています。今日は、半月板の役目や膝関節を安定させるC型をした軟骨様の板で内側・外側にそれぞれがあり、クッションとスタビライザー(膝を安定させる)の役割をはたしてます。これが損傷すると、膝の曲げ伸ばしの際に痛みやひつかかりを感じたりします。ひどい場合には、膝に水(関節液)がたまつたり、急に膝が動かなくなる「ロッキング」という状態になり、歩けなくなるほど痛くなります。

集中治療室から

コンニチワ

「AEDは誰が使用してもよく、免許もありません。
急変時にはぜひお使いください。」



沖縄協同病院
集中治療室
佐久田 豊

今では学校、コンビニエンスストアなどあちこちにAEDは設置されるようになりました。AEDとはautomated external defibrillatorの略で「自動的に解析し、外から電気ショックを与えることが出来る機器」の意味があります。日本では2004年7月に一般市民のAED使用が可能となりました。毎月1回当院でもAED講習会を行っていましたが、新型コロナ感染症の影響で長くお休みしています。講習会などを受けられていますと、スムーズに使用できるようになりますが、講習会を受けていないともAEDは使用できます。

汗びっしょりの方、体が濡れている方は胸の表面をタオルなどで拭いてあげてください。体の表面が濡れると体表面を電気がすすみ、心臓に有効な電気が届きません。AEDは心臓に元気を与える機器ではありません。元気に無秩序にぶるぶる震えている心臓を落ち着かせ、心臓の過剰な電気活動をいったん止める作用します。胸毛が多い方も電気の通りが悪くなるので

取り除いた方が良いです。喘息や狭心症の貼薬などもパッドを張る位置にあるようならばがす必要があります。心臓ペースメーカーが皮下にある場合はその位置からずらして、右鎖骨の下胸骨の右に1枚と左胸のさらに左下、ちょうど2の図のようにパッドを張ります。



<http://www.j-circ.or.jp/cpr/call.html> 日本循環器学会ホームページより

電源ボタンを押すとどうしたらよいか、機器がしゃべり始めます。ふたを開けると作動を開始するAEDの機器もあります。きちんと2の図のように張ったら、体に触ってはいけません。AEDが、心臓がどのような状態か自動解析しています。これはパッドを体に貼り、AEDのソケットにパッドのコネクターを差し込むことで自動解析が始まる仕組みとなっています。オレンジボタンが点滅し始めたら、傷病者の体に他の方が触れていない状態を確認して、オレジボタンを押します。オレンジボタンを押したときだけ電気が流れますので、すぐに胸骨圧迫(心臓マッサージ)を再開してください。サッカーボールなどが胸に強く当たったりして心臓が止まった場合には、なるべく早く胸骨圧迫をしながら、AEDを作動させることができます。AED作動が1分遅れる毎に10%心拍再開率が悪くなると言われています。救急車を呼んでも那覇市内の場合7分から10分かかりてしまいます。是非そばにいる方々でAEDを作動させていただきたいと考えています。



南西諸島の要塞化を許さない!

米軍機が傍若無人に飛び交う広大な嘉手納基地
手前は猫の額ほどの黙認耕作地

画・内科医 上原 和博

今月の1枚

扇風機たち

ウイルスを吹き飛ばせ!
がんばれ扇風機たち!!



病院の活動状況 <2022年8月度>

- 外来一日平均患者数: 313人 (前年同月比 +21人)
- 入院一日平均患者数: 233人 (前年同月比 -28人)
- 組合員利用分量(率): 49.2% (前年同月比 +1.6%)



ハルサー
金城 稲子

定年退職後から始めたトマト栽培が五年目を迎えた。トマト栽培できついのは植え付けと出荷。植え付けは中腰になつて四十mを力二歩きで何往復もするので千五百本を定植するには三日かかる。出荷がきついのは軽トラへの積み込みだ。十三キロもある力ゴを一日で終わるが出荷は十一月から半年続く。三年目までは筋力増強のためと思い疲れを感じなかつたが、その後は湿布薬が欠かせなくなつた。年齢を感じるのは体力だけではない。学資保険の勧誘が「子供さんにいかがですか」から「孫に…」になり、いかにも六十歳後半のおじさんから「おばさん」と呼ばれる喜びに勝ることはない。

越しへの積み込みだ。十三キロもある力ゴを一日で終わるが、それは体力だけではない。学資保険の勧誘が「子供さんにいかがですか」から「孫に…」になり、いかにも六十歳後半のおじさんから「おばさん」と呼ばれる喜びに勝ることはない。先日は薬局で「おくすり手帳」を勧められた。年齢は徐々に受け入れていくものだと悟っている。ハルサーは肉体労働ではあるが、育てる喜び、収穫する喜びに勝ることははない。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻が七月月を経た今、テレビでは侵略直前と全く同じ映像が流れている。飛行機の予約殺到や車の渋滞等。国民が国外へ脱出する様子だ。これはウクライナではなくロシア国内の映像である。ブーチン大統領が「三十万人を戦地に動員する」と発表した直後のことだ。国内で反戦デモも相次いでいる。映像はブーチン支持率八十五%以上がまやかしだったことも写している。ヒトラーと同じ狂気が目の前で起っているのに「核の脅し」で誰にも止められない。戦争は防ぐ努力がいかに大事かがわかる。政府の設置を検討しているが、大事なのは又チカラジ

ハルサー
だより

五回目の植え付け